



# 議会だより

令和 8 年 5 月 1 日 発行  
 発行 青森県上北郡横浜町議会  
 〒039-4145  
 青森県上北郡横浜町字寺下35  
 電話 (0175) 78-2111  
 F A X (0175) 78-2118  
 編集 議会広報編集委員会



## 音響設備一新

P12に内容を掲載しています。

### ●第1回定例町議会

審議した議案 .....	P 2
令和 8 年度一般会計予算 .....	P 4
令和 8 年度予算審査特別委員会 .....	P 6
一般質問に 4 名登壇 .....	P 7

●議会活動報告 .....	P11
---------------	-----

●横浜町議会の主な動き .....	P12
-------------------	-----

# 令和8年 第1回定例町議会

3月定例会は、3月2日(月)から6日(金)までの5日間の会期日程で開会し、日程を1日繰り上げて閉会しました。

提案された議案は、承認2件、条例3件、過疎地域持続的発展計画の策定1件、財産処分1件、補正予算6件、当初予算6件の合計19案件を慎重審議し、原案のとおり承認、可決しました。

一般質問では、菊地英史議員、杉山大栄議員、澤谷航一議員、沖津正博議員の4名が登壇しました。

## 審議した議案の結果

○3月定例会で審議した議案とその議決結果です。

○専決処分		
<b>一般会計補正予算(第4号)</b> → 歳入歳出1億1,554万円増、総額49億2,550万5千円 (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金関係)	承認	<b>◆一般会計補正予算(第4号)</b> <b>歳入(主なもの)</b> 物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金 <div style="text-align: right;">9,222万4千円</div> <b>歳出(主なもの)</b> <u>(実施した事業)</u> ○福祉灯油購入助成 <div style="text-align: right;">1,110万円</div> ○福祉・介護・医療等事業 所物価高騰対策支援給付 <div style="text-align: right;">201万円</div> ○子育て応援手当支給 <div style="text-align: right;">7,980万円</div> ○農業水産物価高騰対策 支援給付 1,840万円 ○中小企業等物価高騰対策 支援給付 1,714万円 ○町民応援商品券事業 <div style="text-align: right;">5,491万円</div>
<b>一般会計補正予算(第5号)</b> → 歳入歳出647万9千円増、総額49億3,198万4千円 (令和8年2月8日実施された衆議院議員総選挙関係)		
○条例の制定・改正		
<b>職員の給与に関する条例の一部を改正する条例</b> → 青森県人事委員会からの勧告に基づく、職員の通勤手当額の改正、教育職給料表を加える改正	全会一致で可決	
<b>道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例</b> → 道路法施行例の一部改正に伴う改正		
<b>乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例</b> → 「こども誰でも通園制度」が創設されたことに伴い基準を定める		
<b>過疎地域持続的発展計画について</b> → 令和8年度から令和12年度までの5ヶ年計画を策定		
<b>財産処分について</b> → 国道279号道路改良工事 (下北半島縦貫道路横浜北バイパス建設)の用地 ①鶏ヶ唄387-1うち 山林 25,244.78㎡ ②川太郎川目64-94うち 山林 309.22㎡		

◆一般会計補正予算(第6号)
歳入(主なもの)
地方交付税 9,072万3千円
公営住宅等整備事業交付金 △2,828万5千円
財政調整基金繰入金 △7,115万4千円
歳出(主なもの)
下川原地区町道舗装修繕 工事 2,000万円
道路除雪費 修繕費 750万円
町営住宅建設工事費 △2,883万4千円

<b>陳 情</b>
令和8年2月24日議会運営 委員会で審議された結果
<件名>
臓器移植に関わる不正な臓 器取引や移植目的の渡航等を 防止し、国民が知らずに犯罪 に巻き込まれることを防ぐた めの環境整備等を求める意見 書提出の陳情
<結果>
議員配布
<件名>
mRNAワクチン(レプリ コンワクチンを含む)接種事 業中止の意見書提出を求める 陳情書
<結果>
議員配布

<b>○令和7年度 補正予算</b>		
一般会計補正予算(第6号)	全会一致で可決	
→ 歳入歳出1,551万1千円減、総額49億1,647万3千円		
国民健康保険特別会計補正予算(第4号)		
→ 歳入歳出1億173万2千円増、総額7億6,966万2千円		
介護保険特別会計補正予算(第4号)		
→ 歳入歳出2,052万9千円減、総額9億127万5千円		
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		
→ 歳入歳出164万9千円増、総額7,512万3千円		
下水道事業会計補正予算(第2号)		
→ 収益的支出120万円増		
水道事業会計補正予算(第4号)		
→ 収益的支出1,028万円増		
<b>○令和8年度 当初予算</b>		
一般会計予算	全会一致で可決	
→ 歳入歳出44億6,800万円(前年度比2.4%減)		
国民健康保険特別会計予算		
→ 歳入歳出7億1,320万8千円(前年度比15.8%増)		
介護保険特別会計予算		
→ 保険事業勘定：歳入歳出8億341万円 (前年度比1.7%減) 介護サービス事業勘定：歳入歳出260万2千円 (前年度比3.2%増)		
後期高齢者医療特別会計予算		
→ 歳入歳出7,867万7千円(前年度比15.6%減)		
下水道事業会計予算		
→ 収益的収入 3,741万1千円(前年度比13.3%減) 収益的支出 3,399万3千円(前年度比14.1%減) 資本的収入 910万円(前年度比30.0%減) 資本的支出 1,668万7千円(前年度比19.1%減)		
水道事業会計予算		
→ 収益的収入 9,265万7千円(前年度比0.9%減) 収益的支出 9,011万5千円(前年度比1.9%増) 資本的収入 1,806万6千円(前年度比2727.7%増) 資本的支出 4,407万5千円(前年度比153%増)		
<b>○発 議</b>		
議会閉会中における所管事務調査の付託について		
→ 議会閉会中に各常任委員会・議会運営委員会・特別委員会 の所轄事項について継続して調査する必要があるため。		

# 令和8年度横浜町一般会計予算 44億6,800万円で成立

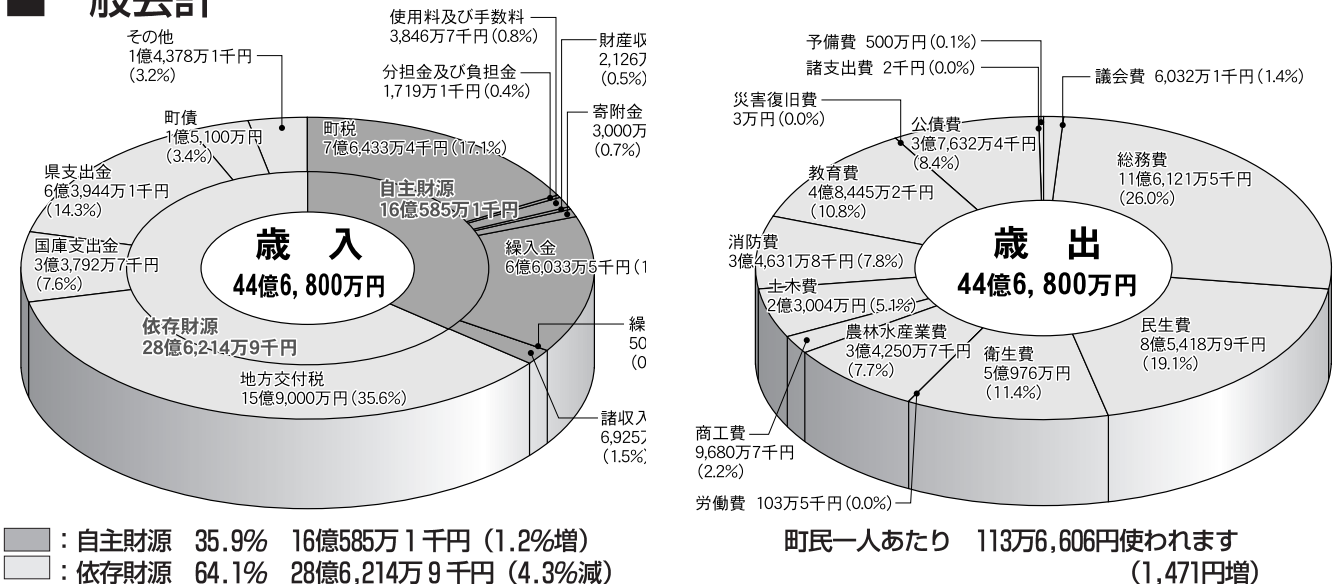
(前年対比で1億1,000万円の減、増減率は2.4%の減)

## 令和8年度予算の概要

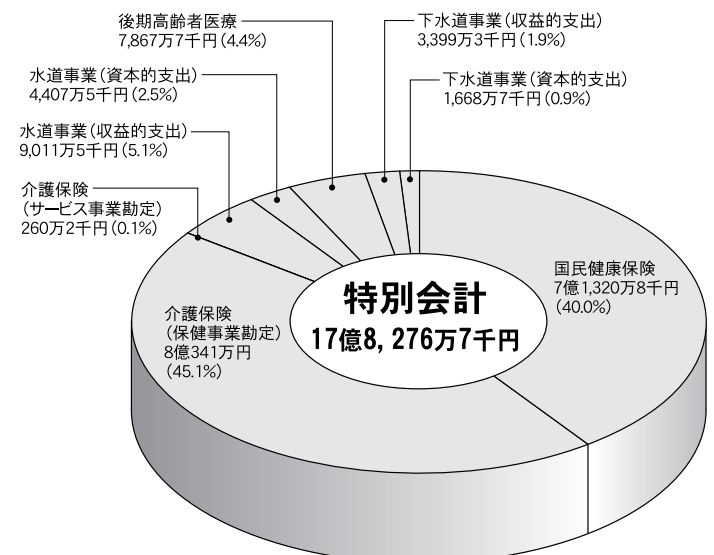
令和8年度当初予算は、再生可能エネルギーに係る固定資産税償却資産分の増など増収を見込む一方、歳出は職員給与等件費の増、障害福祉サービス費等扶助費の増、老朽化が進む公共施設の解体や改修等に多額の経費を要するなど依然と厳しい状況にあります。

このような状況の中、財源確保に努め、持続可能な横浜町の実現に向け、第一次産業の経営安定化への支援、少子化対策に関連する取組、地方創生に向けた取組など時代のニーズを捉え、未来を拓く取組に重点を置いた予算編成をしています。

## 一般会計



## 特別会計



# ◆令和8年度の事業をピックアップ

## ★ 新事業

## 継続事業

### 議会・総務課・企画財政課

○議会ペーパーレス化事業	135万8千円
○庁舎照明LED化工事設計業務委託	450万円
○マイクロバス購入費	1,400万円
○旧保健センター解体工事関連	5,660万円
○窓口DXSaaS導入事務委託	5,000万円

### 福祉課・町民課

○補聴器購入助成事業	30万円
○医療・福祉職子育て世帯移住支援事業費補助金	300万円
○障がい福祉計画更新業務委託	500万円
○一般廃棄物最終処分場屋根改修設計業務委託	220万円
○一般廃棄物最終処分場遮光シート改修工事	3,200万円

### 産業振興課

○農業収入減少(加工馬鈴薯)対策事業補助金	400万円
○菜の花プラザ屋根修繕構想設計業務委託	100万円
○菜の花プラザトイレ便器入替工事	300万円
○ナマコ養殖用かご購入事業費補助金	20万円
○半成貝購入費補助金	500万円
○横浜町特産物PRイベント事業関連	400万円

### 建設水道課

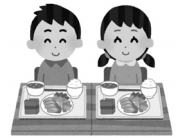
○鶏沢1号線道路改良工事	1,200万円
○牛ノ沢川樹木伐採工事	220万円
○田ノ沢川浚渫工事	900万円
○社会資本整備事業 (鶏沢3号線、新町旭町線他1路線)	2,360万円

### 教育委員会

○教育関連施設長寿命化計画更新業務委託	2,000万円
○横浜小学校体育館エアコン設置工事設計業務委託	300万円
○横浜中学校照明LDE化工事設計業務委託	800万円
○烏帽子平自然の家等解体設計業務委託	1,430万円
○トレーニングセンターアリーナ改修工事	700万円

### 子育て支援 (健康みらい課・福祉課・教育課)

- ・妊婦のための支援給付金  
(1回目 妊婦5万円  
2回目 子ども(胎児)1人につき5万円)
- ・出産祝い金(1子につき10万円)
- ・高校生までの子ども医療無償化
- ・保育所運営費(保育料無償化)
- ・小中学校入学助成事業補助金(体操着)
- ・小中学校修学旅行費助成金
- ・高校生通学等助成金
- ・学校給食費補助金交付事業  
(給食費無償化)



### 移住定住 (企画財政課・建設水道課)

- ・結婚新生活支援事業費補助金
- ・安全安心住宅リフォーム促進支援事業費補助金
- ・定住促進事業補助金



### 農業漁業 (産業振興課)

- ・馬鈴薯・ごぼう・にんにく生産対策事業補助金
- ・なたね助成金
- ・スマート農業等普及推進事業費補助金
- ・漁業経営資金利子補給事業補助金
- ・ホタテ特定養殖共済事業補助金
- ・ホタテガイ養殖残渣処理補助金
- ・稚ナマコ購入放流事業費補助金



### 商工観光 (産業振興課)

- ・菜の花フェスティバル運営事業
- ・ふるさとのまつり運営事業
- ・地域商業活性化事業補助金  
(プレミアム商品券)



# 予算審査特別委員会

令和8年度の一般会計及び特別会計予算は、  
予算審査特別委員会（橋本 円委員長）に付託し審議しました。



橋本 円 委員長

## 【主な審議内容】

（歳入）

予算審査特別委員会は3月4日から5日に2日開催しました。令和8年度当初予算について慎重審議し、橋本円委員長から本会議でその内容を報告しました。

**問** 令和7年度の農山漁村再エネ法寄付金は、よこはま風力発電1千万円、横浜風力開発1千800万円の合計2千800万円であったが、令和8年度は2千万円になっている。800万円減の要因は。

**答** 横浜風力開発の12基、1千800万円と新たに令和7年度からスタートした横浜明神平風力発電の2基200万円、合計2千万円

を計上。これまで予算計上していたよこはま風力発電の14基1千万円は3年間利益がなく寄付金がなかったの計上していない。今後の状況を見て補正対応する。

（歳出）

**問** 地域おこし協力隊の募集委託では今年度、応募があったのか。

**答** 今回1名の応募があり、令和8年4月1日から神奈川県横浜市在住の25歳男性が採用される。

**問** 情報システム費が年々膨らんでいる。更新の度に言われるがまま予算が膨らんでいるのでは。システム費が高くなるのは仕方がないが、専門家の直接雇用等なるべく抑える方策はないか。

**答** システム改修は確かに高額になっている。今後、町で行っていたシステム改修が国に代わるので経費は多少下がるが利用料が高いので致し方ない。技術者に

関しても事業者のシステムを使用している関係で、それに精通していなければ対応できない部分があり、町独自に採用して対応することは難しいと考える。

**問** 医療・福祉職子育て世帯移住支援事業補助金300万円が計上されているが、その中身は。

**答** 青森県独自の補助事業で18歳未満の子供と共に県外から青森県内に移住し、県内の医療福祉施設等で就業、資格取得を目的に県内の養成機関に就業する方を対象としている。一世帯の基本額は100万円です。子供1人あたりの加算が100万円、その方がひとり親の場合は更に100万円の加算となっている。

**問** なたね作付面積の状況と新品種導入はどうなっているか。

**答** 8年の作付面積は93.5ヘクタールで前年対比では8.3ヘクタール増

となる。新品種のペノカのしずくは8年度から横浜町でも試験的に作付けをしていく。

**問** 工事請負費の町単独工事費2千万円は、変更等で増額となった場合、新年度にやるべきことを減らすのか、増額補正するのか。

**答** 見込まれている工事は三保野地区の道路舗装工事と防雪柵工事など予備的な費用も見込んで2千万円としている。

**問** 郷土館費は来年度も800万円弱の予算計上をしているが、冬の営業体制はどのようになっているか。

**答** 観光バス等がほとんど来なくなる1月から2月は客足が遠のき、企画展をやっても人が集まらない状況。3月は休館としている。

# 町政を問う

## 一般質問

3月定例会



きくち ひでし  
**菊地英史** 議員  
会派・新風会

### データセンターの誘致

#### 質問 1

〈一般質問とは?〉  
定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたり、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めらるるものです。  
質問する議員も、受ける執行機関も準備が必要であるため、通告制となっています。

定例会2日目に4名の議員により一般質問が行われました。  
その内容を要約してお知らせします。

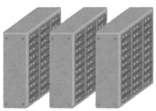
データセンターは安定した電力供給、冷涼な気候、広い土地、災害リスクの低さを条件とすることから地方において新たな産業誘致の可能性として注目されている。当町はデータセンター誘致を地域振興や産業活性化の選択肢の一つとしてどのように捉えるか。

#### 答弁

当町へのデータセンターの誘致が実現すれば、固定資産税等の税収の増加だけではなく、雇用創出や関係人口の増加が見込まれ、当

町へ訪れる人が増え、観光業や地域産業の活性化に多くの影響をもたらしてくれると考える。

現在日本におけるデータセンターは約6割が関東、約2割が関西に集中している。青森県は六ヶ所村のむつ小川原開発地区へ立地する計画がある。今後は県の動向を注視し、情報収集に努め、当町へのデータセンター関連事業の誘致の可能性について検討していく。



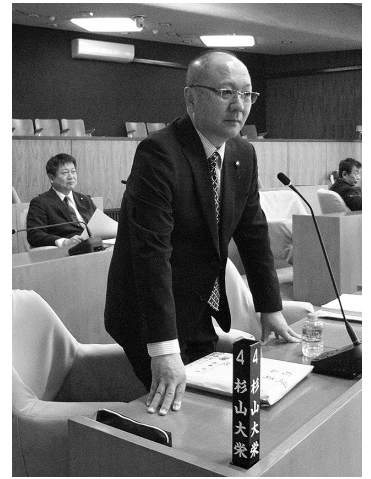
### 下北半島縦貫道路における携帯電話不感地帯の解消

#### 質問 2

横浜吹越インターチェンジから野辺地北インターチェンジの一部区間において携帯電話が通じにくい不感地帯が存在している。交通事故や車両トラブル発生時に通報の遅れ、災害時の情報伝達の支障など安全・安心の確保に大きな課題があると考える。携帯電話の環境通信は、道路インフラの一部として捉える必要があるのでは。

#### 答弁

①一部区間で通話が可能などうかの目印となる携帯電話の電波強度表示が微弱になる、通じにくい場所が存在する。  
各携帯電話会社において居住地エリアは契約者からの相談により改善に努めているが、非居住地エリアは場所が特定されるのであれば、既存の基地局で電波調査を検討することを確認がとれている。  
②町では、具体的な取り組みや計画策定の予定ありません。携帯電話の通信環境は、現代社会において欠かせないインフラのひとつとなつているため下北半島縦貫道が通過する市町村及び関係機関において情報を共有していきたい。



議員 杉山大栄  
会派・新風会

## 下北半島縦貫道路開通に伴う

### 町内商業施設の活性化対策

#### 質問 1

令和8年3月に下北半島縦貫道は、吹越インターチェンジから横浜インターチェンジまで開通となり、通過されるだけの道路になる心配がある。町内の商業施設は多大なる影響が予想される。

町内商業の活性化につなげていくためには、町として明確な戦略と継続的な取り組みが不可欠であると考ええる。

①下北半島縦貫道の横浜インターチェンジまでの開通が町内商業にどのような影響をもたらすと認識しているのか。

②通過交通や観光客を、いかに町内の商業施設や飲食店へ誘導していくかが重要と考えるが、具体的な誘客施策は。

#### 答弁

①横浜インターチェンジは道の駅よこはまエリアとの連携で情報施設として活用することを目的としている。下北半島玄関口の休憩場所としての利便性が増し、立ち寄りやすくなる契機を活かして「寄り道したい町・滞在したい町」を指していきたい。

②道の駅において、町内観光パンフレットや電子掲示板での町内案内情報を提供し、新しいトイレ・休憩施設等を活用した観光ルートづくりを推進、観光客を町内商店街へ誘導を図ること、商店街や商工会主催のイベントへの誘客につながるかと考える。

## 雪捨て場及び

### 融雪溝の状況

#### 質問 2

今年度当町においては、冬期間の降雪量が多く、除雪対策は町民の安全な生活を支える上で極めて重要である。特に高齢者世帯や狭い住宅地では、雪の処理が大きな負担となっている。

①現在、当町における雪捨て場の設置状況と、その管理体制について。

②雪捨て場の容量不足や場所が遠いといった町民からの要望・苦情の対応について。今後、新たな雪捨て場

の確保や既存雪捨て場の拡充について考えはあるのか。

③融雪溝の詰まりや機能低下が発生している箇所への対応状況について。今後、融雪溝整備について計画的に取り組む考えはあるのか。

#### 答弁

①町内に一般町民用の雪捨て場の設置はしていないが、要望があった場合、町の排雪した雪を運搬する砂浜海岸海水浴場へ案内している。

除排雪業者が使用している道路除雪時の一時堆積場所は町内に複数箇所あり、堆積場所がいっぱいになった時点で砂浜海岸海水浴場北側の町有地に運搬している。

除排雪に伴う道路状況の把握は、毎日のパトロールで除排雪業者と情報共有したうえで対応している。

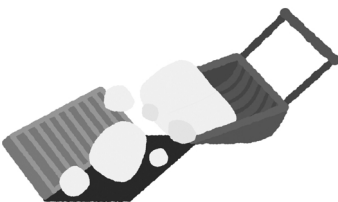
②現在まで雪捨て場について町民からの要望や苦情はなく、既存の除排雪場所も

容量不足となったことがない。既存の雪捨て場は現状どおりで使用していくこととし、容量が不足する場合は隣接する町有地で対応する。

③整備されているのは流雪用ではなく融雪用のため、雪を隙間なく詰め込むと水の流れが止まってしまうことがある。

町では毎日の確認作業や連絡があれば融雪溝の使い方についても町民の理解を得ながら利用していただいている。

現時点で融雪溝の整備計画はなく、除雪との整合性も考え必要に応じて検討する。



## 学校給食センターの現状

### 質問3

学校給食を取り巻く環境は、食材価格の高騰、人材不足など大きく変化している。学校給食は、子ども達の健やかな成長を支えると同時に食育の観点からも極めて重要な役割を担っている。

①近年の物価高騰により、給食の質や量への影響が懸念されるが、どのような対策を講じているのか。

②現在の委託体制の効果や課題は。

③地元食材の活用は、食育の推進だけでなく、地域経済の活性化にもつながると考えるが、現在の取り組み状況と課題は。

### 答弁

毎月、指定業者へ見積徴収を行い、価格の安い材料を仕入れている。今年度は給食費の値上げを行った

が、献立を策定するに当たり、主菜を変えるなど可能な限り単価の低いものを使用し、給食の質や量は変らないよう対応している。

②学校給食センターの安定的な運営を確立するため、優れた調理技術、衛生管理能力、業務効率性を有する民間事業者を選定し6年目となる。調理業務が安心・安全かつ円滑に行われていると評価している。

③地元食材の仕入れは菜の花プラザ直売所から町内農家の野菜等を購入し、加工グループからも購入している。冬期間は品物が少ない状況となることから、限られた野菜を計画的に購入している。



## 投票時間の繰り上げ

### 質問1

当町でも全投票者の約半数が期日前投票を利用し、事前に周知徹底できれば終了時間を1〜2時間早めても支障がないと思う。

投票管理者、立会人、事務従事者の負担軽減が図られるのでは。

### 答弁

投票時間繰り上げによる短縮は、公職選挙法において選挙管理委員会において決定すると規定されているが、投票の機会を狭めるので慎重に検討するべきである。令和8年2月8日の衆



議員 航一 谷澤  
さわや こういち  
会派・新風会

## 真鯛釣りをふるさと納税の返礼品に

### 質問2

ホタテ貝養殖業継続のための施策が色々と講じられているが、漁業者の当面の生活費の工面、町税収の増額、釣り人にとって天然の大型真鯛が釣り放題となれば釣り客が殺到することから採用の価値があると考ええる。

### 答弁

漁業者の収入増、ふるさと納税の増額につながり、釣りに来た方々が宿泊施設、飲食店、商店を利用することで地域経済の活性化に寄与できると考えられる。一方、参加者の安全対策が非常に重要となる。真鯛釣りの返礼品も漁業者や関係者の協力がなければできないことから、その方々の意見も聞きながら慎重に検討したい。



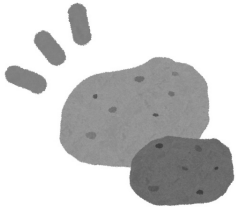
## ポテチの発売記念イベントは菜の花プラザで

### 質問 3

カルビー社との契約栽培により横浜町産のジャガイモがポテトチップスに加工されているが、発売記念イベントは十和田市の『かだしあれ』で開催されている。本来ならば原料生産地の菜の花プラザで開催すべきと考える。

### 答弁

毎年9月下旬に道の駅はじゃがいも収穫イベントとして「じゃがじゃがフェスティバル」を開催しているので、今後、十和田おいらせ農協及び道の駅と協議していきたい。



## 三保川沿いの刈り払いを

### 質問 4

三保川沿いから中学校の間、上流側に向かって旧碎石場跡地付近の橋までの範囲で刈り払いを実施して見晴らしを良くし、野生獣が出没しにくくなる緩衝地帯の整備が必要と考える。

### 答弁

三保川沿いの遊歩道は県が管理する2級河川の三保川と、その河川を管理する河川管理道路となっている。町としては早急に県に現在の状況を報告し、河川環境の整備を要望していく。



## 消防署用地の確保を

### 質問 5

横浜消防分署庁舎は昭和57年に落成。経年劣化、時代と共に充実が計られた整備で手狭になり、女性参画も考慮しながら、出動の利便性等から次期開設場所は下北半島縦貫道路横浜インターチェンジ付近が最善と考えられることから、建設用地を確保しておくべきと考える。

### 答弁

下北半島縦貫道路の横浜インターチェンジが開通し、それに適応した救急時の体制を北部上北広域事務組合や関係機関と連携を図り、消防指令センターの消防広域化の県内情勢も考慮し、役場庁舎の更新計画を含め、用地の選定、基本計画の段階から早期に広く意見を徴収、検討していきたい。

## 「ホタテ救済」へ税の減免措置の

## 周知徹底を求める



おきつまさひろ  
議員  
沖津正博  
会派・日本共産党

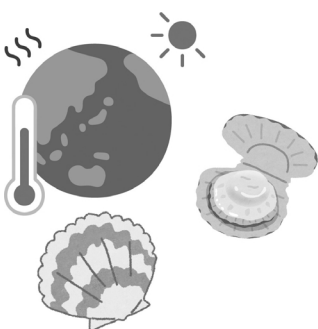
### 質問 1

今年ホタテ収入が見込めない中で、積極的に減免措置を進めてほしく、今後の具体的な町の対応を伺う。

歴史的な災害となつているホタテ被害に災害認定もなく具体的な県の対応が見えない。ホタテ救済策の国や県への対応についてどのように考えているのか。

### 答弁

町は横浜町国民健康保険税条例に基づく減免の方向で考え、町漁協と連携し、経営状況の把握に努め、国保税等の減免手続きに関する情報提供を積極的に行い、対象者の救済を図っていききたい。



## 買い物難民対策のアンケート調査の実施を求める

### 質問 2

町は買い物難民対策として、高齢者巡回バスの運行、道の駅宅配注文サービスを行っているが、買い物需要にこたえきれない面も出ています。

六ヶ所村は民間に委託した移動販売車が運行されている。当町も町民の意向や需要を確かめるためのアンケートに取る組も考えはないか。

### 答弁

今年度、第3期横浜町人口ビジョン・横浜町総合戦略のアンケート調査を実施し、日常の買い物不便との回答が約53%。介護予防・生活圏ニーズ調査も実施し、「日常的な買い物のため公共交通機関を利用する」との回答が30%の調査結果であった。

このことから買い物難民対策に限定したアンケート調査は考えていない。

移動販売等については、他市町村の事例を参考にしつつ検討したい。

## 議会活動

視察、研修会などの活動について紹介します。

### 下北半島縦貫道路 開通式典

3月14日「むつ南バイパス」及び「横浜南バイパス・横浜北バイパス一部」の開通式典が行われました。



### 原子力・エネルギー 対策特別委員会

3月25日、役場3階大会議室にて原子力・エネルギー対策特別委員会を行いました。

東北電力(株)東通原子力発電所長より「東通原子力発電所の防護設備の性能試験等の未実施及び不適切な試験記録等作成」に関わる根本原因分析結果及び改善措置活動計画ということで再発防止の徹底について説明していただきました。

日本原燃(株)地域・広報本部副本部長から「再処理



工場における放射性物質の体内取り込みについて」原因と今後の再発防止策として放射性物質を体内に取り込むような状況を繰り返さない現場作りに努めていきたいというお話をいただきました。

議員より原子力、電力関係のことを町民から聞かれたいときは説明できなければいけない立場なので、こういう会議を開催することができて良かったとのことがあり、これからも安心・安全に暮らせるようお願いしたいということをお伝えするよい機会となりました。



# 横浜町議会の主な動き

## 1月8日 議会全員協議会

(1)物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等について

## 2月9日 議会全員協議会

(1)横浜町過疎地域持続的発展計画について

(2)財産処分について

(3)横浜町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(案)

(4)その他

・横浜町烏帽子平自然の家解体計画について

・横浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について  
(子ども・子育て支援納付金の徴収について)

## 2月 9日 議会活性化特別委員会

## 2月16日 総務教育常任委員会

## 2月17日 産業民生常任委員会

## 2月24日 議会運営委員会(第1回定例町議会)

## 3月 2日 議会全員協議会

(1)第3期横浜町人口ビジョン・横浜町総合戦略について

(2)横浜町地域防災計画(原子力災害対策編)について

## 3月25日 原子力・エネルギー対策特別委員会



## 議場の音響設備工事をおこないました

令和7年12月定例会後から議場の音響設備工事をおこない、令和8年3月定例会では各席のマイクが新しくなりました。

今まで議会の傍聴に来られても音が聞き取りにくいなどご不便をおかけしていましたが、音響設備工事により改善されました。

これを機会に、ぜひ傍聴にお越しいただきたいと思います。



## 議会を傍聴しませんか

町の動きを知るよい機会です。  
多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化の一つです。

3月定例会の傍聴者は15人でした。  
次の定例会は6月の予定です。  
みなさんの傍聴をお待ちしております。  
(詳しくは議会事務局まで)

## みなさんの声をお聞かせください

町民の皆さんに親しまれる  
紙面づくりを目指し、ご意見、ご要望  
(傍聴された方のご意見も合わせて)  
お待ちしております。

議会広報編集委員会  
TEL78-2111 内線430・431

## 広報編集委員会

委員長 野坂浩二  
副委員長 杉山大栄  
委員 濱谷和恵  
澤谷航一  
沖津正博

春は新たなスタートの季節です。新生活を迎える皆様にとって希望あふれる日々となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

(杉山大栄)

## 編集後記

寒さの中にも、日差しがぬくもりに心とくこの頃、町民の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。今号では、令和8年度予算や定例会での一般質問など、町のこれからを左右する重要な議論内容をお伝えしました。